

鬼怒中だより



第1号

令和7年4月25日（金） 発行者 校長 高橋 裕一

生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

令和7年度の学校組織

昨年度に引き続き、校長を拝命しました高橋裕一です。校長として3年目を迎えました。今年度もよろしくお願いいたします。以下に今年度の学校組織をお示しいたします。

校 長	タカハシ ユウイチ 高橋 裕一	人権教育主任	トリイ トモミ 鳥居 友美	養護教諭	コクフダ ミチコ 國府田 倫子
副校長	オガワ マサヒロ 小川 雅弘	小中一貫推進主任	スミ アキラ 鷺見 明	栄養教諭	カジワラ ヤスコ 梶原 康子
教務主任	タケダ タカシ 武田 玄	司書教諭	サクライ アキラ 櫻井 晶	事務長	イイノ アキコ 飯野 亜希子
学習指導主任	アイダ コウタ 相田 康太	特別支援コーディネーター	オオガネ キヨシ 大金 清	学校図書館司書業務	エヅラ チヒロ 江面 千尋
生徒指導主事	クリタ ヨウヘイ 栗田 陽平	SCM	タカクラ アリサ 高倉 亜梨沙	学校業務	サワハタ ススム 澤幡 進
進路指導主事	クメカワ ハク 桑川 伯	初任研担当	コバヤシ ヒロエ 小林 宏江	スクールカウンセラー	ハヤシ マサミチ 林 正道
保健主事	オカ タツ ヤ 岡 龍哉	初任研指導	テヅカ ヒロユキ 手塚 宏行	校内教育支援センター支援員	サカタ ヒロミ 坂田 浩実
道徳主任	グドウ チアキ 工藤 千晶	地域連携教員	オガワ マサヒロ 小川 雅弘	かがやきルーム	ワタナベ カズオ 渡邊 一夫
特別活動主任	ヒラノ メグミ 平野 めぐみ	学校支援	マルタニ ハルヒデ 丸谷 晴英	ALT	ジョナサン・ロデュタ

○学年主任・学年副主任・学級担任・副担任

第1学年（4クラス）			第2学年（4クラス）			第3学年（5クラス）		
学級	氏 名	教科	学級	氏 名	教科	学級	氏 名	教科
主 任	コジマ ヨウスケ 小嶋 陽介	国語	主 任	インガイ ミホ 磯貝 美穂	英語	主 任	ヒロタ カズユキ 廣田 和之	社会
副主任兼 1組担任	オカ タツ ヤ 岡 龍哉	保体	副主任兼 1組担任	クマザワ タカシ 熊沢 貴史	理科	副主任兼 3組担任	スガヤ としみ 菅谷 としみ	保体
4組担任	トリイ トモミ 鳥居 友美	英語	2組担任	ヒラノ メグミ 平野 めぐみ	音楽	1組担任	アイダ コウタ 相田 康太	社会
3組担任	ツカハラ ミ ユ キ 束原 実結貴	理科	4組担任	タカクラ アリサ 高倉 亜梨沙	社会	5組担任	クリタ ヨウヘイ 栗田 陽平	英語
2組担任	ジンザイ チサト 神西 千里	国語	3組担任	グドウ チアキ 工藤 千晶	家庭	4組担任	アンドウ マサキ 安藤 雅基	理科
						2組担任	タガミ ユキエ 田上 幸恵	美術
副担任	ジンノ カおり 陣野 かおり	数学(会 任職)	副担任	スミ アキラ 鷺見 明	技術	副担任	サクライ アキラ 櫻井 晶	国語
			副担任	アライ セイヤ 新井 聖也	数学	副担任	イイジマ ユウコ 飯島 祐子	英語(会 任職)
特支副主 任兼担任	ミノワ ケイスケ 箕輪 圭祐	保体	特支担任	イナバ ミカ 稲葉 美香	音楽	特支主任 兼担任	オオガネ キヨシ 大金 清	社会
特支副担	オオガネ チナリ 大金 知愛	英語	特支副担	テヅカ マリコ 手塚 真里子	保体	特支担任	コバヤシ ヒロエ 小林 宏江	国語

令和7年度の教育体制と目標

4月24日（木）に、本校では、オープンスクール・学級懇談が行われました。学級懇談に先立ちまして、私から、保護者の皆様に「お願い」を何点か申し上げました。繰り返すにはなりますが、一部掲載させていただきます。

市の校長会議の中で、宇都宮市の教育行政に関する話がありました。宇都宮市は「教育で選ばれるまち宇都宮」を目指しており、教育体制が整っています。その中でも、本校はさらに恵まれています。

- ・今年度から開設される「校内教育支援センター（生徒が安心して過ごせる居場所として利用でき、生徒の心理面や学習面の支援を行う場）」には、2人の指導員が常駐し、2つの部屋でサポートを行っていきます（他校は1人）。
- ・昨年度から開設されている特別支援の通級教室を今年度も木曜日に開設
- ・スクールカウンセラーは週1回、火曜日に勤務
- ・学習支援として好評の「かがやきルーム」は毎日開設

本校には、「特別な配慮や支援を要する生徒」や「人との関わりが苦手な生徒」、「生きづらさを感じている生徒」など様々な生徒がいますが、どの生徒も学校の主役です。その主役である生徒が楽しく学校生活を送り、学力や人間性を高めることができるように支援していくのが、学校や教職員に課された責務だと思います。校長をはじめとして教職員が一丸となって、多様性を重視しながら、生徒たちのために努力して参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



（入学式の様子）



（着任式の様子）

校長として3年目となり、もう一度「学校経営の目標」を見直そうと思い、校長室前の掲示物をリニューアルし、学校経営の目標を「継続する目標」と「新たな目標」の2つとしました。

「継続する目標」は「良さや可能性」の追求です。人には必ず「良さや可能性」があり、他の人には「自分と違う良さや可能性」があるので、教職員はそれを気づかせるために、「わからないことがわかるようになったり、できないことができるようになったりする」場面をたくさん作り、サポートしていきます。

そして、「新たな目標」は、「みんなの力で鬼怒中学校を「当たり前」の事を当たり前に行える学校」にし、「誇れる学校」にしていこうという目標です。本校には、「自ら判断し、実行し、責任を持とう。」という、本校生徒の信条となるスローガンがあります。このスローガンには様々な活動を通して、自分自身で物事を判断し、行動しようというメッセージが込められています。物事を判断するには、ある程度の「常識」が必要になりますが、「常識」は人や場所、時代等によって違います。今年度の鬼怒中学校では、「常識」と同じ意味を持つ「当たり前」をテーマにして、物事を考えてみたいと思いますが、さっそく、生徒の皆さんから多くの意見をいただいております。次回の学校だよりでご紹介いたします。